

預言者サムエル

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/4/29

これまでの歴史

年代(紀元前)	時代	出来事
2000年頃	族長時代	祝福の約束
1900年頃	エジプト滞在	
1440年頃	出エジプト	律法の賦与
1400年頃	カナン入国	祝福と呪い
～1050年頃	士師時代	

サムエル登場

- 「最後の士師」「最初の預言者」と呼ばれた
- 神の箱のそばで育ったサムエル
 - 母ハンナには子どもがなく、苦しんでいた
 - 男の子が与えられれば、主にお献げしますと約束し、それが叶えられた
 - ハンナはサムエルが乳離れすると祭司に預けた
- サムエルは祭司の子でも、レビ族でもなかったが、主に仕える者となった

サムエルの「預言」

- 墮落していた祭司エリの息子たち

- エリの息子、ホフニとピネハスはいけにえの肉を奪ったり、幕屋で仕える女たちと関係していた

- 主は少年サムエルに、エリの家に対する裁きを語られた<「預言者サムエル」>

- 「主は来てそこに立たれ、これまでと同じように、サムエルを呼ばれた。『サムエルよ。』サムエルは答えた。『どうぞお話してください。僕は聞いております。』」 3:10

契約の箱の逆効果

- ある戦いでイスラエルが劣勢になったとき、民は契約の箱を持ってきて主の助力を求めた
 - この頃、ペリシテがしばしば攻めてきた
- しかし、これを見たペリシテがかえって勇敢に戦ったので、イスラエルは打ち負かされた
 - 「大変なことになった。あの強力な神の手から我々を救える者があるうか。あの神は荒れ野でさまざまな災いを与えてエジプトを撃った神だ。ペリシテ人よ、雄々しく男らしくあれ。」サムエル上4:8

奪われた契約の箱

- この戦いの最中に、祭司エリの2人の息子たちはくサムエルに語られたとおり>死んだ
 - 預言が成就した
- この戦いで契約の箱は奪われ、ペリシテに持ち去られた
- 祭司エリはこれらの知らせを聞いたとき,
 - 「ああむけに落ち、首を折って死んだ。年老い、太っていたからである。」5:18

帰ってきた契約の箱

- **ペリシテに奪われた契約の箱**
 - ダゴンの神殿に置かれたが...
- **ペリシテに災厄が降りかかった**
 - ダゴンの像がバラバラになって契約の箱の前に倒れていた
 - 町の住民に腫れ物が生じた
- **金の腫れ物と金のねずみを添えて、契約の箱が送り返されてきた**
 - ペリシテの領主は困り果て、会議を開いた

悔い改め、勝利を得たイスラエル

- ペリシテの攻撃にさらされ続けたイスラエル
- サムエルは民を集め、主に立ち返れと語った
 - 「あなたたちが心を尽くして主に立ち帰るというなら、あなたたちの中から異教の神々やアシュレトを取り除き、心を正しく主に向け、ただ主にのみ仕えなさい。そうすれば、主はあなたたちをペリシテ人の手から救い出してくださる。」7:3
- 民は「わたしたちは罪を犯しました」と言って、悔い改めた

エベン・エゼル

- 民はサムエルに「我々の神、主に助けを求めて叫んでください」と頼んだ
- サムエルが焼き尽くす献げ物をささげ、祈ると主は答えて下さった
 - 「主がこの日、ペリシテ軍の上に激しい雷鳴をとどろかせ、彼らを混乱に陥れられたので、彼らはイスラエルに打ち負かされた」7:10
- サムエルは勝利の記念に1つの石を取り、それをエベン・エゼル(助けの石)と名付けた

イスラエルの民、「王」を求める

- サムエルが年老いたとき、民は王を立てて欲しい、と求めた
 - そもそも主はイスラエルに律法を与え、律法に従うことで安全と繁栄を保証された
- この要求は、サムエルを退けただけではなく、主なる神への反逆であった
 - 「彼らが退けたのはあなたではない。彼らの上にわたしが王として君臨することを退けているのだ。」8:7

このお話が教えること

- 主は言葉によって警告を与えられる
 - － 聖書のみことば
- 私たちが心から求めるなら、主は助けて下さる
 - － 形だけではなく、心から主に頼る
- 私たちは主の恵みを忘れやすい
 - － 「エベン・エゼル」を持とう！
- 私たちは主に頼るよりも、人に頼りやすい
 - － 目に見える形での安心を手に入れたたい

今日のみことば

「サムエルは石を一つ取ってミツパとシェンの間に置き、『今まで、主は我々を助けてくださった』と言って、それをエベン・エゼル(助けの石)と名付けた。」

＜サムエル記7章12節＞